



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月11日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <https://online.taka-q.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 2023年10月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	4,970	13.1	98		55		93	
2023年2月期第2四半期	5,716		724		673		713	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	3.85	
2023年2月期第2四半期	29.29	

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	5,365	1,971	36.8	80.93
2023年2月期	6,406	1,933	30.2	79.37

(参考)自己資本 2024年2月期第2四半期 1,971百万円 2023年2月期 1,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		0.00	0.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	16.4	40		130		40		1.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	24,470,822 株	2023年2月期	24,470,822 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	105,695 株	2023年2月期	105,695 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	24,365,127 株	2023年2月期2Q	24,365,257 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等について	9
(2) 商品別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、各種行動制限の緩和と外出需要の高まりによって、社会経済活動の正常化が進んだものの、2022年2月以来の不安定な国際情勢の長期化や原材料価格・エネルギーコストの高騰、急激な為替相場の変動による物価上昇等の影響により、景気の先行きは不透明な状態が継続しています。

当アパレル・ファッション業界におきましては、各種イベントの再開や旅行者数の増加等、外出需要の高まりにより、購入動機が回復しつつある一方、為替相場の乱高下や国内外の急激な物価高騰の進行等が長期化していることにより、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような中、当社は、2024年2月期を商売の再建による黒字化達成と上場維持に向けた1年と位置づけ、2020年2月期より推進しております事業構造改革の総仕上げにより、強固な黒字体質への変革の実現に向けて取り組んでまいります。

営業面では、お客様に実店舗とEコマースをシームレスにご利用いただける”OMO環境“(Online Merges with Offline)を推進するために、全面改装したタカキューイオンモール樫原店の取り組み状況や、OMO販売比率の高い店舗の成功事例を、教育動画として全店舗に配信し、接客販売のレベルアップとEコマースとの併売強化に注力しました。

また、Eコマースにおける、商品のお直し対応箇所の範囲を拡大してお客様のニーズに応えるとともに、決済方法を更に拡充することで、利便性向上を図りました。

商品面では、新常态で加速したオフィスカジュアル化等、消費者ニーズの変化に対応した品揃えの充実を図り、日常生活やビジネスシーンを快適にする高機能商品「Happy Function」のアイテム群が好調に推移しました。

第1四半期に続きカジュアル関連商品を中心に売上を伸ばし、中でもカジュアルパンツ、ジャケット、カジュアルシャツが既存店前年同期比で好調に推移しました。

ビジネス関連商品は、スーツの売上が伸び悩む中、ドレスシャツとネクタイが既存店前年同期比で好調に推移しました。

仕入面では、シーズン別の納品管理を徹底し、新規秋冬商品の早期立ち上げを実施することにより、売上の確保と在庫水準の適正化を図った結果、8月末の在庫水準は前年同期比74.3%となりました。

また、円安影響による原価高騰の対策として、販売価格の見直しを行い、利益率の改善を図りました。

しかしながら、一部ブランドの廃止に伴いシューズやアクセサリ等が低調に推移した結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は0.3%減となりました。

店舗面では、タカキューを1店舗出店した一方で6店舗退店、セマンティック・デザインを1店舗退店した結果、当第2四半期会計期間末では前年同期比32店舗減の124店舗となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は49億7千万円(前年同期比13.1%減)となりました。利益面では、希望退職制度の実施や店舗数の減少、コストコントロールの徹底により、販売費及び一般管理費が前年同期に対して23.7%減少し、営業損益は9千8百万円の損失(前年同期は営業損失7億2千4百万円)、経常損益は5千5百万円の損失(同経常損失6億7千3百万円)、四半期純損益は9千3百万円の損失(同四半期純損失7億1千3百万円)となりました。

なお、当社は衣料品販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して10億4千1百万円減少し、53億6千5百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産で関係会社株式が8千5百万円増加し、流動資産で現金及び預金が5億4千2百万円、売掛金が2億5千2百万円、商品が6千9百万円、固定資産で有形固定資産が2千3百万円、無形固定資産で3千8百万円、投資その他の資産で敷金が1億8千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して10億3百万円減少し、73億3千7百万円となりました。主な要因は、流動負債で短期借入金が2千4百万円、固定負債で繰延税金負債が2千8百万円それぞれ増加し、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が1億6千9百万円、未払金が2億6千万円、未払法人税等が5千3百万円、事業構造改革引当金が1億6千3百万円、資産除去債務が8千万円、その他に含まれる未払消費税が2億2千4百万円、固定負債で長期借入金が4千5百万円、リース債務が2千4百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して3千8百万円減少し、△19億7千1百万円となりました。主な要因は、評価・換算差額等のその他有価証券評価差額金が5千5百万円増加し、株主資本で利益剰余金が9千3百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して5億4千2百万円減少し、9億4千6百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億2千8百万円の支出（前年同期比3億5千9百万円の支出増加）となりました。これは売上債権の減少2億5千2百万円、非資金的費用である減価償却費8千8百万円等の資金増と、税引前四半期純損失5千7百万円、仕入債務の減少1億6千9百万円、未払金の減少2億4千2百万円、未払消費税等の減少2億2千4百万円及び事業構造改革引当金の減少1億6千3百万円等の資金減によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7千3百万円の収入（前年同期比2千4百万円の収入増加）となりました。これは、資産除去債務の履行による支出8千6百万円等がありましたが、敷金及び保証金の回収による収入1億8千8百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8千6百万円の支出（前年同期比1億1千8百万円の支出減少）となりました。これは長期の借入金返済2千1百万円、利息の支払4千万円、リース債務の返済2千3百万円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期の業績予想については、2023年4月12日の「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,488,964	946,871
売掛金	696,387	443,927
商品	1,428,949	1,359,332
貯蔵品	114,271	120,989
その他	187,067	168,059
流動資産合計	3,915,640	3,039,180
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	186,191	172,580
機械及び装置（純額）	4,116	3,791
器具及び備品（純額）	34,316	33,291
リース資産（純額）	6,898	5,174
その他（純額）	6,668	0
有形固定資産合計	238,192	214,838
無形固定資産	340,259	301,771
投資その他の資産		
関係会社株式	451,866	537,080
差入保証金	36,404	36,404
敷金	1,417,378	1,230,238
その他	7,028	6,201
投資その他の資産合計	1,912,677	1,809,923
固定資産合計	2,491,129	2,326,533
資産合計	6,406,769	5,365,713

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	330,397	433,034
電子記録債務	1,333,700	1,061,546
短期借入金	2,946,650	2,970,800
未払金	686,871	426,751
未払法人税等	90,859	37,048
リース債務	47,887	48,302
資産除去債務	99,547	19,419
ポイント引当金	94,296	100,515
事業構造改革引当金	163,184	—
その他	429,023	161,126
流動負債合計	6,222,419	5,258,544
固定負債		
長期借入金	1,080,200	1,034,750
リース債務	40,527	16,271
資産除去債務	745,372	747,312
繰延税金負債	131,474	160,080
関係会社事業損失引当金	21,374	21,374
その他	99,324	99,324
固定負債合計	2,118,273	2,079,113
負債合計	8,340,693	7,337,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,468,485	2,468,485
利益剰余金	△4,679,559	△4,773,318
自己株式	△26,505	△26,505
株主資本合計	△2,137,579	△2,231,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	203,655	259,394
評価・換算差額等合計	203,655	259,394
純資産合計	△1,933,923	△1,971,944
負債純資産合計	6,406,769	5,365,713

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	5,716,805	4,970,592
売上原価	2,302,572	1,912,051
売上総利益	3,414,233	3,058,541
販売費及び一般管理費	4,138,853	3,156,555
営業損失(△)	△724,620	△98,014
営業外収益		
不動産賃貸料	147,957	141,522
手数料収入	49,426	46,181
その他	16,307	16,918
営業外収益合計	213,690	204,621
営業外費用		
支払利息	42,441	40,881
不動産賃貸費用	97,062	99,512
その他	22,914	22,025
営業外費用合計	162,417	162,418
経常損失(△)	△673,346	△55,811
特別損失		
減損損失	3,628	1,768
特別損失合計	3,628	1,768
税引前四半期純損失(△)	△676,974	△57,580
法人税、住民税及び事業税	42,735	37,048
法人税等調整額	△6,123	△869
法人税等合計	36,611	36,178
四半期純損失(△)	△713,586	△93,759

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△676,974	△57,580
減価償却費	105,906	88,285
減損損失	3,628	1,768
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△10,433	6,218
事業構造改革引当金の増減額 (△は減少)	—	△163,184
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	7,787	—
有形固定資産除却損	0	3,372
受取利息及び受取配当金	△3,203	△3,203
支払利息	42,441	40,881
売上債権の増減額 (△は増加)	235,532	252,459
棚卸資産の増減額 (△は増加)	610,992	62,899
仕入債務の増減額 (△は減少)	△169,951	△169,517
未払消費税等の増減額 (△は減少)	35,696	△224,354
未払金の増減額 (△は減少)	△178,841	△242,108
その他	△128,821	△33,575
小計	△126,242	△437,638
助成金の受取額	1,702	—
法人税等の支払額	△44,724	△90,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	△169,264	△528,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,350	△14,060
無形固定資産の取得による支出	△113,685	△15,770
敷金及び保証金の差入による支出	△1,930	△1,248
敷金及び保証金の回収による収入	238,406	188,388
資産除去債務の履行による支出	△73,733	△86,269
その他の資産取得による支出	△199	△999
利息及び配当金の受取額	3,203	3,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,710	73,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△117,100	—
長期借入金の返済による支出	△21,300	△21,300
リース債務の返済による支出	△23,434	△23,840
自己株式の増減額 (△は増加)	△3	—
利息の支払額	△42,680	△40,698
手数料の支払額	△840	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,358	△86,839
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△325,912	△542,092
現金及び現金同等物の期首残高	1,585,878	1,488,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,259,965	946,871

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、前事業年度において、営業損失785,167千円、当期純損失1,050,386千円、同事業年度末にて純資産△1,933,923千円となり、当第2四半期累計期間において営業損失98,014千円、四半期純損失93,759千円、同会計期間末にて純資産△1,971,944千円となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、継続企業の前提にかかる重要な疑義を解消するための対応策として、事業構造改革の諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、経営安定化を目的とした様々な資本増強に向けた各種施策を検討・推進し、想定を上回る急激な円安、原材料価格・エネルギーコストの高騰等の環境変化を踏まえた収益改善計画を含め検討を進め、当該状況の解消・改善に努めております。

上記の取り組みとともに、今後の資金繰りに支障が生じないよう取引金融機関と継続的かつ緊密な連携・協議を行なうことにより、総額1,350,000千円の当座貸越契約締結に加えて、1,150,000千円のシンジケーション形式によるコミットメントライン契約を締結しているほか、長期借入金1,132,550千円、短期借入金373,000千円の借入れを行っており、引き続き十分な運転資金を確保できるものと判断しております。

しかしながら、債務超過の状態が1年半に亘り継続しており、資本増強に向けた諸施策等の対応は着実に進行しているものの、一段の円安進行への対応等が加わる中、具体的な債務超過解消に至る過程につき現時点において決定している状況にないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められると判断しております。

なお、四半期財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表へ反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社は、前事業年度において、営業損失785,167千円、当期純損失1,050,386千円、同事業年度末にて純資産△1,933,923千円となり、当第2四半期累計期間において営業損失98,014千円、四半期純損失93,759千円、同会計期間末にて純資産△1,971,944千円となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、継続企業の前提にかかる重要な疑義を解消するための対応策として、事業構造改革の諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、経営安定化を目的とした様々な資本増強に向けた各種施策を検討・推進し、想定を上回る急激な円安、原材料価格・エネルギーコストの高騰等の環境変化を踏まえた収益改善計画を含め検討を進め、当該状況の解消・改善に努めております。

上記の取り組みとともに、今後の資金繰りに支障が生じないよう取引金融機関と継続的かつ緊密な連携・協議を行なうことにより、総額1,350,000千円の当座貸越契約締結に加えて、1,150,000千円のシンジケーション形式によるコミットメントライン契約を締結しているほか、長期借入金1,132,550千円、短期借入金373,000千円の借入れを行っており、引き続き十分な運転資金を確保できるものと判断しております。

しかしながら、債務超過の状態が1年半に亘り継続しており、資本増強に向けた諸施策等の対応は着実に進行しているものの、一段の円安進行への対応等が加わる中、具体的な債務超過解消に至る過程につき現時点において決定している状況にないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められると判断しております。

(2) 商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)		前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
重衣料	2,407,742	42.1	2,167,606	43.6	5,170,399	43.2
中衣料	117,776	2.1	82,222	1.7	684,591	5.7
軽衣料	2,948,001	51.6	2,554,828	51.4	5,650,194	47.2
その他衣料等	243,285	4.2	165,935	3.3	470,696	3.9
合計	5,716,805	100.0	4,970,592	100.0	11,975,883	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。